

日本海藻協会ニュース

2010年6月15日

I. 協会事務局から

1. 千葉県立中央博物館企画展の後援

書面による理事会（2010年5月10日付）の承認を得ましたので、千葉県立中央博物館から依頼のあった企画展「海藻、35億年の旅人」（7月3日－9月5日）を後援することが決まりました。この企画展の詳細は本ニュース添付の資料をご覧ください。

II. 海藻関連ニュース

1. 千葉県立中央博物館の企画展（本協会後援）

「海藻、35億年の旅人」と題した千葉県立中央博物館企画展が7月3日－9月5日まで同館（千葉市中央区青葉町 青葉の森公園内）を中心に開催されます。この期間中に展示のほか、自然誌シンポジウム（7月17日）、植物観察会（7月24日）、記念講演会（8月8日）、その他の催事が予定されています。詳細はウェブサイト www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/ をご覧ください。

2. 自然誌シンポジウム「宮部金吾生誕150周年記念－日本の藻類学は今！－」

千葉県立中央博物館主催の自然誌シンポジウム「宮部金吾生誕150周年記念－日本の藻類学は今！－」が7月17日9:00－17:30に同博物館（千葉市中央区青葉町 青葉の森公園内）で開催されます。当日先着200名まで。要入場料。詳細はウェブサイト www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/ をご覧ください。

3. 植物観察会「潮だまりの海藻－家族で学ぶ海其自然誌－」

千葉県立中央博物館主催の植物観察会「潮だまりの海藻－家族で学ぶ海其自然誌－」が7月24日9:30－25日15:00に千葉県立中央博物館分館 海の博物館（勝浦市吉尾）で開催されます。事前申込抽選で小学生以上を含む親子10組を受付けます。詳細はウェブサイト www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/ をご覧ください。

4. 第3回国際海藻産業フォーラム・展示会 (SEABFEX-III)

インドネシア海事水産省主催の第3回国際海藻産業フォーラム・展示会 (Seaweed International Business Forum and Exhibition (SEABFEX)-III Surabaya 2010) が7月14-17日にスラバヤ (東ジャワ) の Sheraton Hotel & Tower で開催されます。世界各国から海藻ビジネス関係者が参加する集会・展示会です。詳細はウェブサイト www.seabfex.com をご覧ください。

5. 第7回海の森づくりシンポジウム「海と森の共生」

海の森づくり推進協会主催 (共催: 日本大学理工学部海洋建築学科・(社)国際海洋科学技術協会) の第7回海の森づくりシンポジウム「海と森の共生」が7月18日 10:00-17:30 に東京海洋大学楽水会館ホール (東京・港区) で開催されます。7題の話題提供および総合討論と映画・ビデオ上映が予定されています。参加費は1,000円です。シンポジウム終了後に懇親会 (会費1,000円) があります。詳細はウェブサイト www.kaichurinn.com をご覧ください。

6. 第9回国際海洋バイオテクノロジー会議

国際海洋バイオテクノロジー学会 (International Marine Biotechnology Association, IMBA) 主催の第9回国際海洋バイオテクノロジー会議 (The 9th International Marine Biotechnology Conference, IMBC 2010) が10月8-12日に中国の青島で開催されます。詳細はウェブサイト www.imbc2010.org をご覧ください。

7. 第3回藻類の世界アジア 2010

アジア太平洋地域のマーケット繁栄を目指す第3回藻類の世界アジア 2010 (The 3rd Algae World Asia 2010) が10月19・20日にシンガポールの Goodwood Park Hotel Singapore で開催されます。学術研究者、産業関係者、投資関係者などが参加する集会で、主要分科会として「藻類生産システムのブレークスルーと進展」「藻類生産力と藻類加工効率を高めるためのテクノロジー」「高価値副産物の開発」「炭素吸収と排水処理のための藻類利用」「藻類バイオ燃料の商業化戦略と進展」などが予定されています。詳細はウェブサイト [3rd Algae World](http://3rdAlgaeWorld.com) をご覧ください。

8. 公開シンポジウム「4つの目で見守る生物多様性」

国立環境研究所の公開シンポジウム 2010「4つの目で見守る生物多様性ー長い目、宙の目、ミクロの目、心の目ー」が6月19日 (東京会場 九段会館

ホール、千代田区九段南)と6月26日(京都会場 京都産業会館 8F シルクホール、下京区四条通室町東入)で何れも12:00-17:00に開催されます。詳細は<http://www.nies.go.jp/sympo/2010/index.html>をご覧ください。

9. 第4回国際応用藻類学会議 (ISAP-2011)

国際応用藻類学会 (International Society for Applied Phycology, ISAP) 主催の第4回国際応用藻類学会議 (The 4th Congress of the International Society for Applied Phycology, ISAP-2011) がカナダのハリファックス (Halifax) で2011年6月19-24日に開催されます。カナダの National Research Council (Institute for Marine Biosciences) が世話を担当し、会場は Halifax Marriott Harbourfront Hotel が予定されています。藻類の増養殖、利用、企業化などに関する専門家の世界各地からの参加が期待されています。近々、参加登録並びにプログラム等に関するウェブサイトが開設される予定です。本ニュース添付の案内を参照下さい。問合せ先: Local Organizing Committee for ISAP 2010 (e-mail: ISAP2011@nrc-cnrc.gc.ca)

10. 第5回ヨーロッパ藻類学会議

ヨーロッパ藻類学会連合 (European Union of Phycological Societies) 主催の第5回ヨーロッパ藻類学会議 (The 5th European Phycological Congress, EPC5) が "Exploring the Phycocosmos: A European Perspective" をテーマに2011年9月4-9日にギリシャのロードス島 (Rhodos Palace Hotel) で開催されます。詳細はウェブサイト www.epcv.gr をご覧ください。

III. カレンダー

- 2010.6.19. 公開シンポジウム 2010「4つの目で見守る生物多様性」(東京・九段南、九段会館ホール)
- 2010.6.26. 公開シンポジウム 2010「4つの目で見守る生物多様性」(京都・下京区、京都産業会館 8F シルクホール)
- 2010.7.3.-9.5. 千葉県立中央博物館企画展 (千葉市中央区、青葉の森公園)
- 2010.7.14.-17. 第3回国際海藻産業フォーラム・展示会 (SEABFEX-III) (インドネシア、スラバヤ)
- 2010.7.17. 自然誌シンポジウム「宮部金吾生誕150周年記念ー日本の藻類学は今!ー」(千葉市中央区青葉町、千葉県立中央博物館)
- 2010.7.18. 第7回海の森づくりシンポジウム「海と森の共生」(東京・港区、東京海洋大・楽水会館ホール)

- 2010.7.24.-25. 植物観察会「潮だまりの海藻一家族で学ぶ海の自然誌ー」（千葉・勝浦市、千葉県立中央博物館分館 海の博物館）
- 2010.10.8.-12. 第9回国際海洋バイオテクノロジー会議 (IMBC 2010) (中国・青島)
- 2010.10.19-20. 第3回藻類の世界アジア 2010 (シンガポール)
- 2010.6.19.-24. 第4回国際応用藻類学会議 (ISAP-2011) (カナダ、ハリファックス)
- 2011.9.4-9. 第5回ヨーロッパ藻類学会議 (ギリシャ、ロードス島)

IV. 新刊書・新製品案内

1. 日本船舶海洋工学会 (編著) : 船舶海洋年鑑. 2,100 円 (税込). 成山堂書店 (2010).
2. 環境省自然環境局 (編) : 生物多様性民間参画ガイドライン. 2,100 円 (税込). 成山堂書店 (2010).
3. 藤田大介・村瀬 昇・桑原久実 (編著) : 藻場を見守り育てる知恵と技術. 3,990 (税込). 成山堂書店 (2010).

V. 海藻 Q & A

Q 28ーサンゴにはどんな藻類が共生しているのですか？

Aー腔腸動物のサンゴの体内には渦鞭毛藻類 (うずべんもうそうるい) のゾーキサンテラ (zooxanthella) が共生しています。ゾーキサンテラ (ゾーザンテラ) は褐虫藻とも呼ばれ、海産無脊椎動物 (クラゲ、シャコガイ、イソギンチャク、サンゴなど) や原生動物の細胞内に共生しています。代表的な属は *Symbiodinium*, *Amphidinium*, *Gymnodinium* などです。渦鞭毛藻類は2本の鞭毛をもつ単細胞藻類の一群ですが、褐虫藻は大きさ約 10 μm (マイクロメートル) で黄褐色をしており、共生状態では球形で、宿主から離れて外に出ると卵形で鞭毛をもちます。光合成色素 (クロロフィルやキサントフィルなど) をもち、光を受けてつくった光合成産物 (グリセロール、グルコース、アラニンなど) の一部を宿主に渡しています。

これまでのQ&A

- Q 1**ー「海藻」と「海草」は同じですか。(No.2 に掲載)
- Q 2**ーノリの「色落ち」って何ですか。(No.2 に掲載)
- Q 3**ー海藻が多様な色彩を呈するのはなぜか？(No.3 に掲載)

